

よこはまししょうがいしゃこうけんてきしえんせいどあんけーと 横 浜 市 障 害 者 後 見 的 支 援 制 度 アンケートについて (ご報告)

1 実施時期：平成30年3月～平成30年4月末日

2 実施機関：

(1) 実施主体 横浜市健康福祉局障害企画課
 障害者後見的支援推進法人 (横浜市社会福祉協議会障害者支援センター)

(2) 配付協力 障害者後見的支援運営法人18区

3 アンケート対象と回答率等について

【本人からの回答】

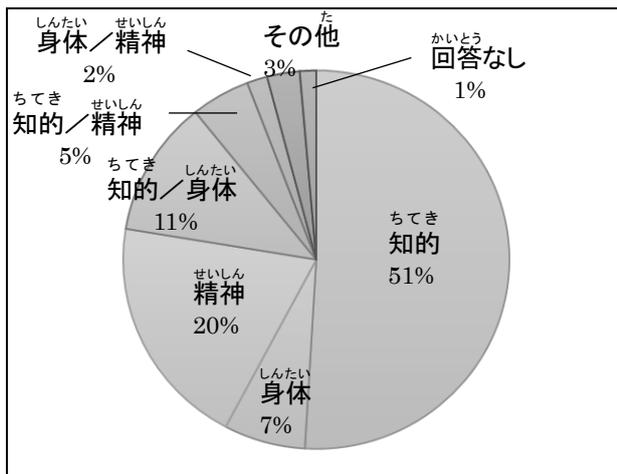
はいふすう 配布数 1, 0 2 1 件 (80.3%)	かいとうすう 回答数 5 8 5 件 (57.3%)
------------------------------------	----------------------------------

【家族からの回答】

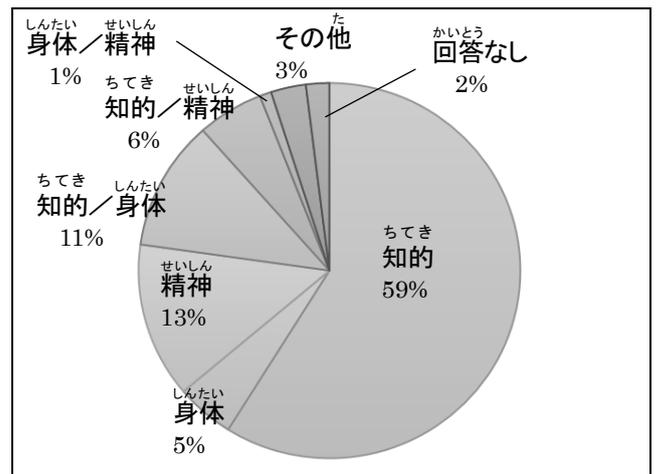
はいふすう 配布数 9 6 1 件 (75.6%)	かいとうすう 回答数 6 0 6 件 (63.1%)
---------------------------------	----------------------------------

平成29年9月末日現在の登録者1,272人のうち、各支援室を通じて登録されている本人とその家族合計1,982人に協力の依頼をし、合計1,191人(60.0%)から回答をいただきました。

【本人回答の障害別内訳】

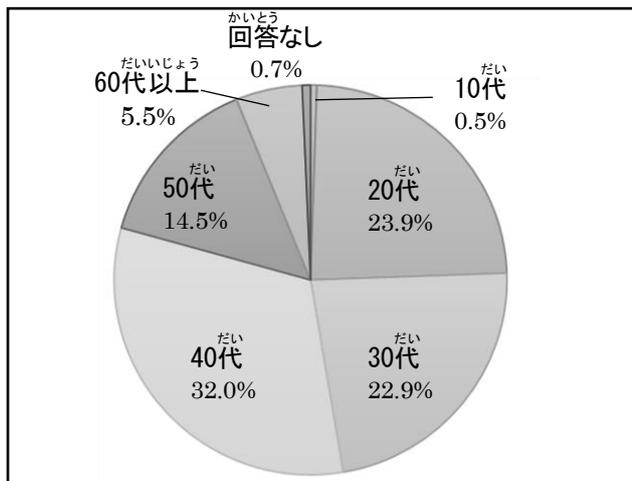


【家族回答の障害別内訳】

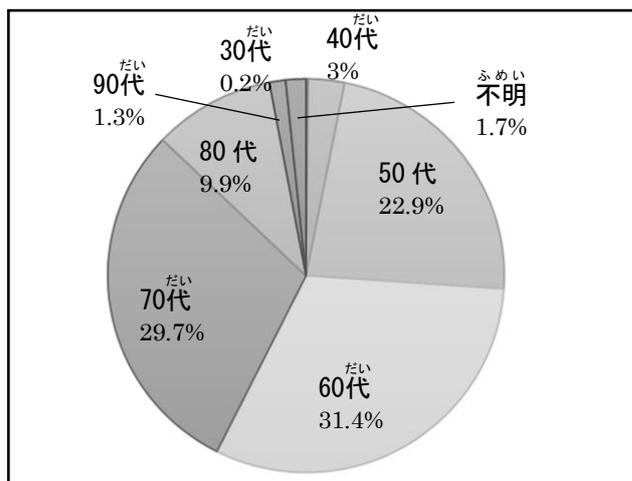


回答をいただいた方の障害別の内訳は上記のとおりです。知的障害や精神障害の方の割合は、本人と家族で少し差がみられました。

ほんにん ねんれいうちわけ
【本人の年齢内訳】



かぞく ねんれいうちわけ
【家族の年齢内訳】

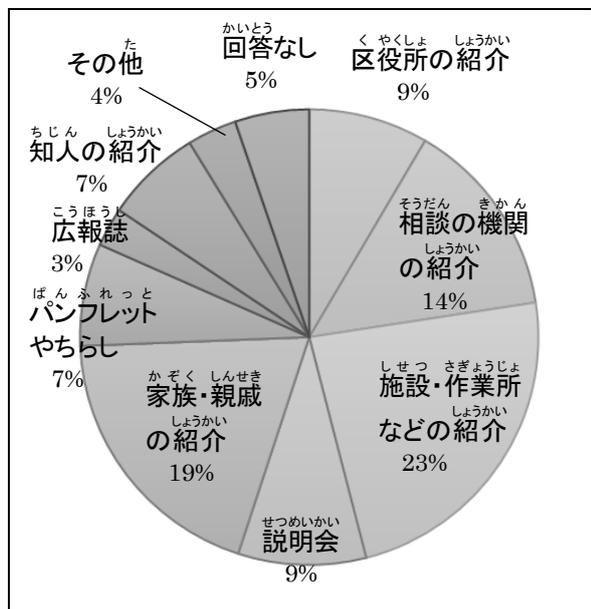


回答いただいた方の年齢内訳です。本人は 40代が、家族では 60代の方からの回答がやや多い結果となりました。

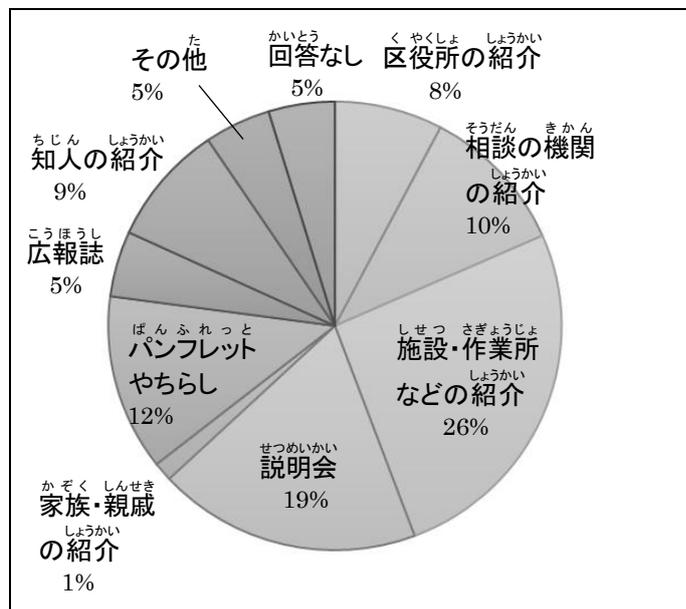
4 アンケート結果について

(1) この制度を知ったきっかけについて

ほんにん かいとう
【本人からの回答】



かぞく かいとう
【家族からの回答】

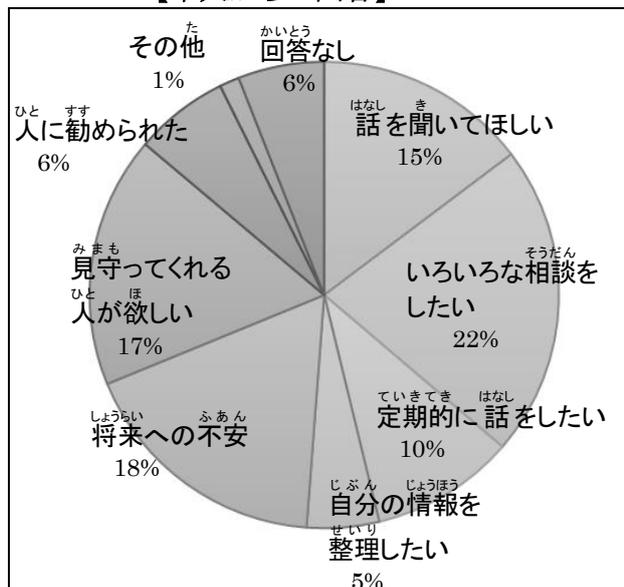


本人・家族の約半数が区役所や相談の機関、施設・作業所などの紹介でこの制度を知ったことがわかります。また、本人では「家族・親戚の紹介」が、家族では「説明会」「パンフレットやちらし」の回答数も多くなっています。さらに、「知人の紹介」も約10%の回答があり、本人や家族同士で少しずつ広まってきているものと考えます。

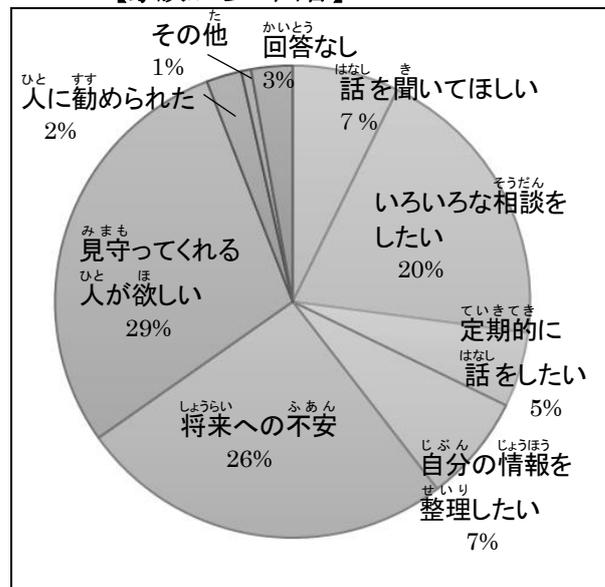
引き続き、関係機関への制度案内や、本人・家族の方への説明会、パンフレットやちらしを活用した周知など、まだ登録していない方々にこの制度を知っていただく機会を作っていきます。

(2) この制度に登録した理由について

【本人からの回答】



【家族からの回答】

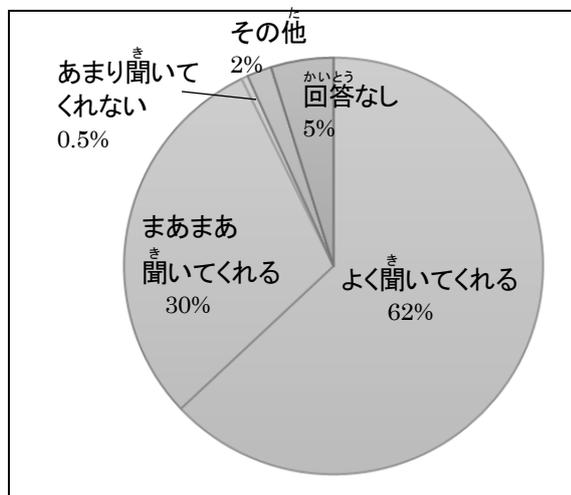


本人・家族ともに「いろいろな相談がしたい」「将来への不安」「見守ってくれる人が欲しい」の回答数が他と比べて多くなっています。本人、家族の回答を比べてみると、本人では「話を聞いてほしい」「いろいろな相談をしたい」「定期的な話をしたい」が、家族では「将来への不安」「見守ってくれる人が欲しい」の合計数が登録理由のおよそ50%を占めています。

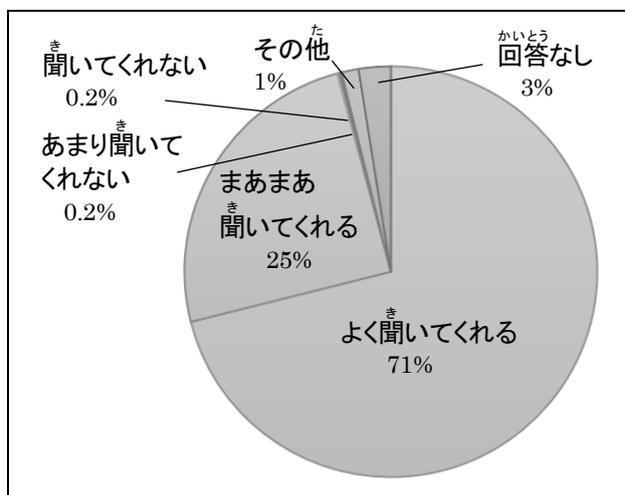
(3) 訪問や面接をするスタッフについて

① スタッフは話をよく聞いているかどうか

【本人からの回答】

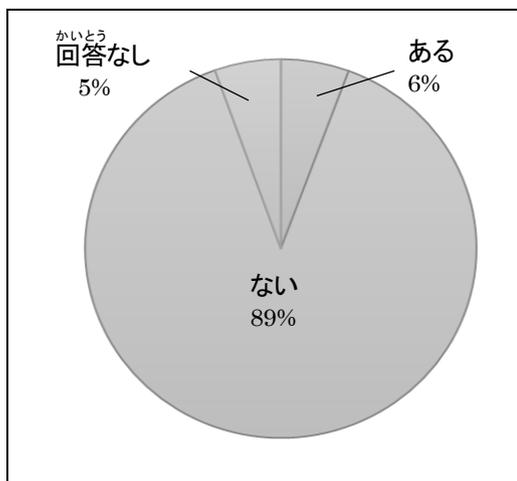


【家族からの回答】

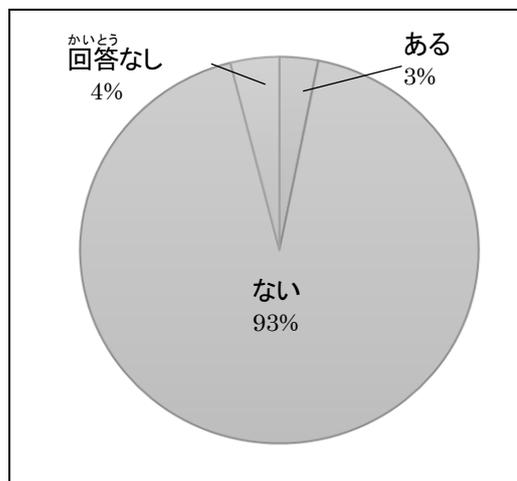


② スタッフへ不快な思いをしたことがあるかどうか

【本人からの回答】



【家族からの回答】

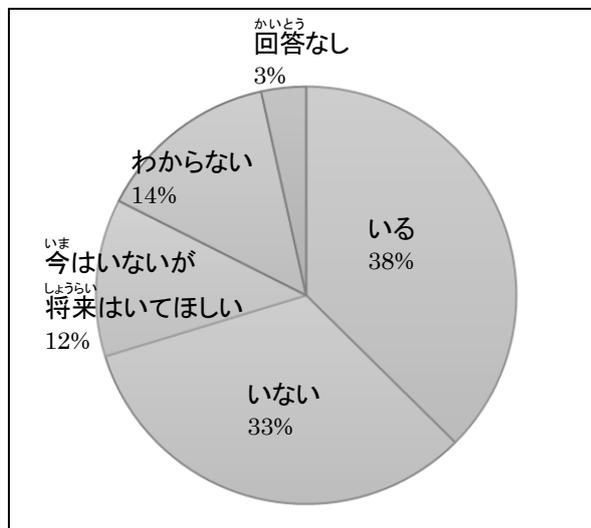


「よく聞いてくれる」「まあまあ聞いてくれる」を合わせた回答がそれぞれ90%以上になっています。しかし、一部の方からは、スタッフに対して「不快な思いをしたことがある」という回答をいただきました。いただいたご意見を真摯に受け止め、改善に取り組んでまいります。

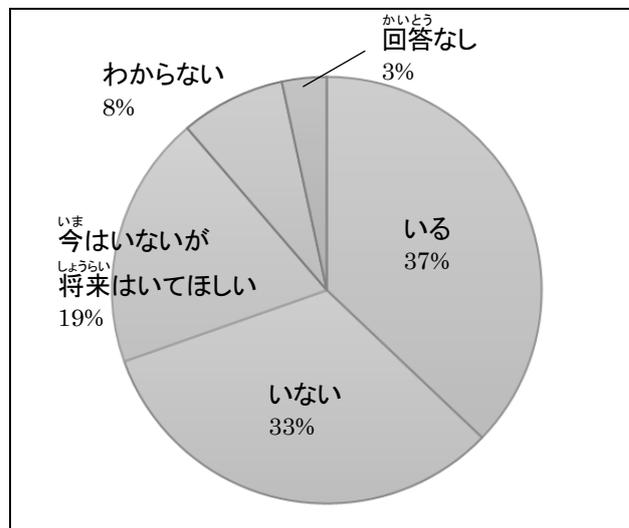
(4) あんしんキーパーについて

① 「あんしんキーパー」がいるかどうか

【本人からの回答】

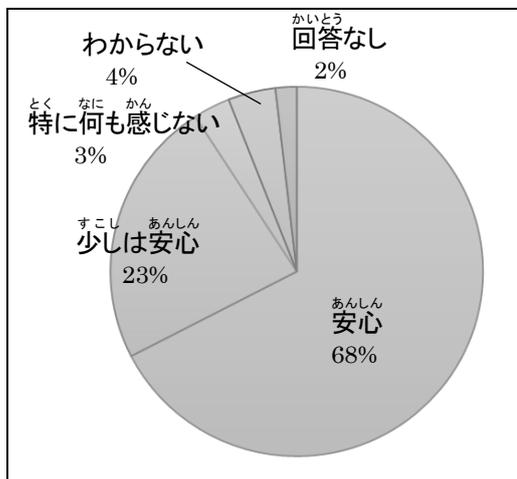


【家族からの回答】

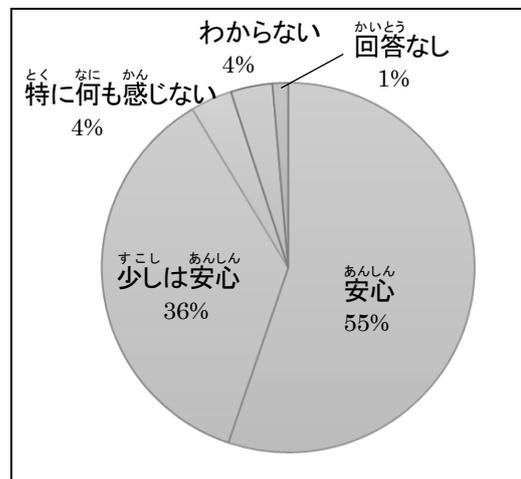


② 「あんしんキーパー」がいて安心ですか

【本人からの回答】



【家族からの回答】



あんしんキーパーが「いる」と回答された方は全体の40%程度ですが、その内約90%の方が「安心」「少しは安心」と回答されています。また、本人から約10%、家族からは約20%が「今はいないが将来はいてほしい」と回答されています。

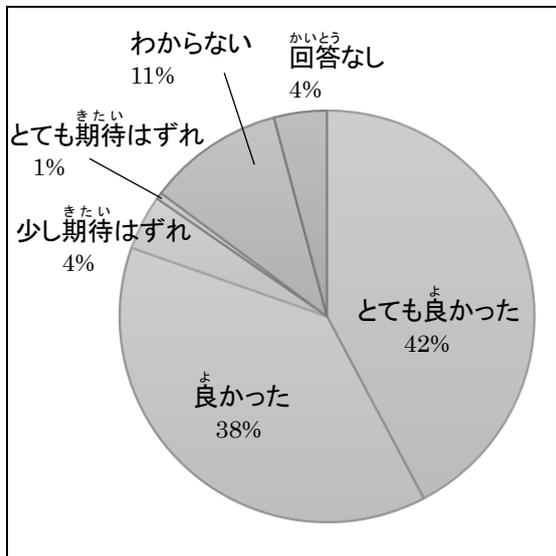
また、キーパーへ期待することとしては「本人が気軽に話ができる」「普段の暮らしを見守ってほしい」「困った時に助けてもらいたい」等多くのご意見が寄せられました。

本人の地域生活を支援できるチームの一員としてのあんしんキーパーを増やしていくために、今後ともさまざまな視点で検討を重ねていきます。

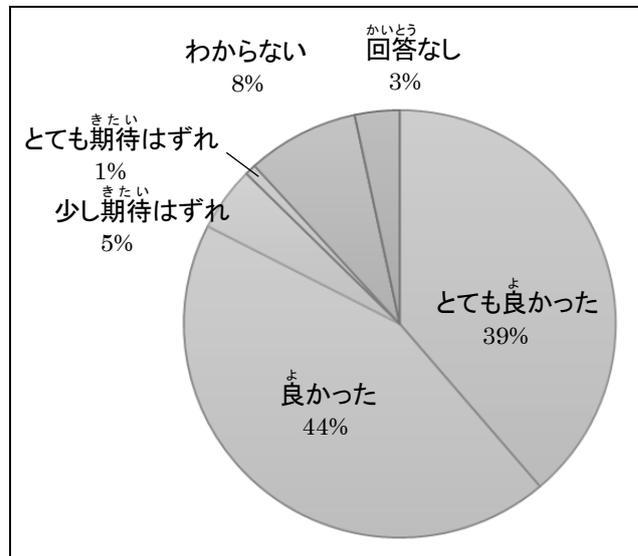
(5) 登録して良かったかどうか

① 後見的支援制度に登録して良かったか

【本人からの回答】

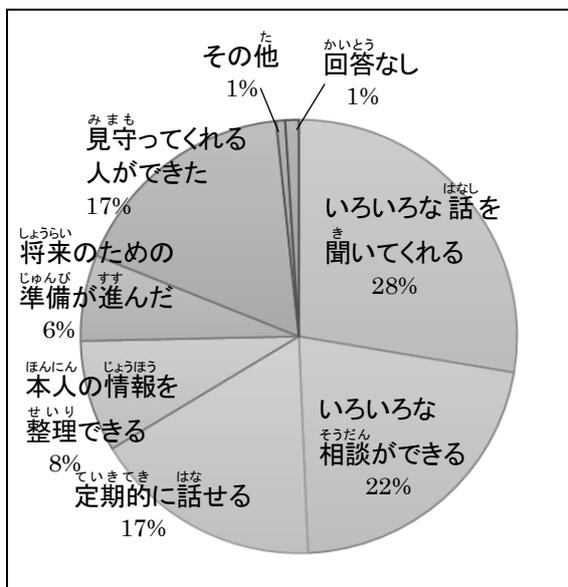


【家族からの回答】

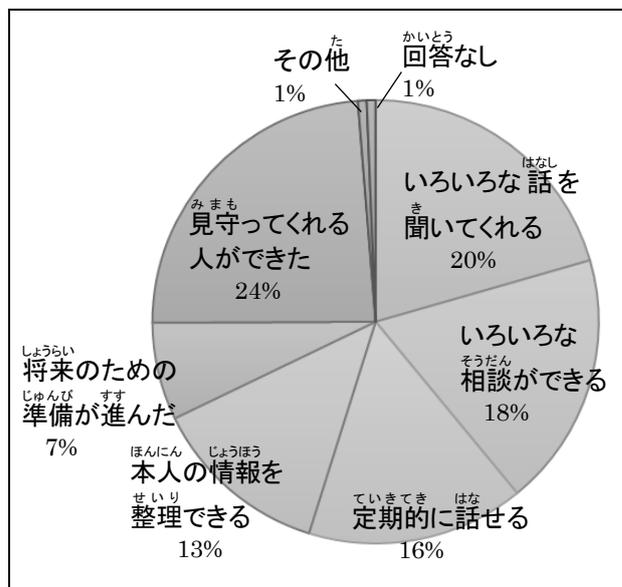


② どんなことが良かったか

【本人からの回答】



【家族からの回答】



「とても良かった」「良かった」の回答を合わせると、本人・家族ともに約80%になりました。また、良かった理由として多かったのは「いろいろな話を聞いてくれる」「いろいろな相談ができる」「見守ってくれる人ができた」という回答でした。「その他」や自由記述においては、「気持ちが軽くなった」「本人を知ろうという姿勢を感じ

た」「これから少しずつ将来に向けた準備ができそう」といった回答をいただきました。

一方、「少し期待外れ」「とても期待外れ」と回答された方も5%程度いらっしゃいます。理由としては「もっと具体的な支援をしてくれると思った」「登録した成果が見えない」といったご意見でした。

これらのご意見を踏まえ、引き続き、丁寧にこの制度やできた背景等をお伝えしながら、より多くの方々に「登録してよかった」と感じていただけるよう取り組んでいきたいと考えます。

5 まとめ

この制度は、「親亡き後の将来の不安」の解消や「本人の立場に寄り添う存在」の必要性をもとに、平成22年度からスタートしました。「住みなれた地域で、安心して暮らすことを願う障害のある人とその家族の思いを支援する」ものであり、「本人に寄り添い、将来を一緒に考える」と「地域や人とのつながりをつくっていく」ことを大切にしています。

今回実施したアンケートでは80%の方から「登録してよかった」との回答をいただく結果となりました。その一方、「期待はずれ」というご意見や、スタッフに不快な思いをしたことがあるという回答もいただきました。

アンケートを通じていただいたご意見を関係者間でしっかり共有し、今後の取組みに生かしていきます。

特に、スタッフの人材育成や関係機関への周知を強化し、連携を深めていきます。また、この制度のことをご存じでない方にも知っていただけるよう、分かりやすい広報・周知に努めてまいります。さらに、あんしんキーパーをはじめ、地域での見守りが充実するよう、この制度をご理解いただく取り組みを進めていきます。

アンケートにご協力をいただきまことにありがとうございました。